うずしおドームなないろ館　藤の花（道の駅福良）

わたしたちのマチの景況レポート No. 41

2025 年 1～3 月期実績・2025 年 4～6 月期見通し

今日も　楽しい　おつきあい

淡路信用金庫

調査概要

1．調査時期　　：2025 年 1～3 月期実績・2025 年 4～6 月期見通し

2．調査方法　　：当金庫の営業店職員による「聴取り」調査

3．調査企業数　：669 社

製造業	153 社	卸売業	98 社	小売業	115 社		
サービス業	114 社	建設業	140 社	不動産業	49 社		

4．調査地区　　：当金庫事業地区（洲本市、淡路市、南あわじ市、明石市、神戸市、芦屋市、西宮市、尼崎市、加古郡稲美町、加古郡播磨町、加古川市、高砂市、三木市）

5．分析方法：D．I．（「良い」「増加」「上昇」の回答割合 －「悪い」「減少」「下降」の回答割合）
※不変部分を除き、「良い」「悪い」のどちらの力がどれだけ強いかを調べる方法

指標	内容	プラス	マイナス
業況	調査時点での回答企業の業況 「良い」－「悪い」	**良い**＞悪い	良い＜**悪い**
売上額	前期（四半期）と比較した売上 「増加」－「減少」	**増加**＞減少	増加＜**減少**
収益	前期（四半期）と比較した収益 「増加」－「減少」	**増加**＞減少	増加＜**減少**
販売価格	前期（四半期）と比較した販売価格 「上昇」－「下降」	**上昇**＞下降	上昇＜**下降**
仕入価格	前期（四半期）と比較した仕入価格 「上昇」－「下降」	**上昇**＞下降	上昇＜**下降**
人手過不足	調査回答時点での人手 「過剰」－「不足」	**過剰**＞不足	過剰＜**不足**
資金繰り	前期（四半期）と比較した資金繰り 「楽」－「苦」	**楽** ＞ 苦	楽 ＜ **苦**
設備投資企業割合	設備投資実施の有無		

例

人手不足▲50とは

人手	(1)過剰 (2)やや過剰 (3)適正 (4)やや不足 (5)不足

↓ 回答数を集計し、回答割合を算出

	(1)過剰	(2)やや過剰	(3)適正	(4)やや不足	(5)不足	合計
回答数	35	35	210	280	140	700
回答割合	5.0%	5.0%	30.0%	40.0%	20.0%	100.0%

人手不足＝　10　－　60　＝ ▲50

【問合せ先】
淡路信用金庫　業務部
担当：玉田、樅木（もみのき）、坂田
TEL：0120-22-1020

業種別地区別天気図

地区 / 業種	全事業地区（669先）			淡路地区（385先）			神明地区（284先）		
時期	2024年10～12月（前期）	2025年1～3月（今期）	2025年4～6月（見通し）	2024年10～12月（前期）	2025年1～3月（今期）	2025年4～6月（見通し）	2024年10～12月（前期）	2025年1～3月（今期）	2025年4～6月（見通し）
総合									
製造業									
卸売業									
小売業									
サービス業									
建設業									
不動産業									

好調← →低調

全業種

前期　今期　来期

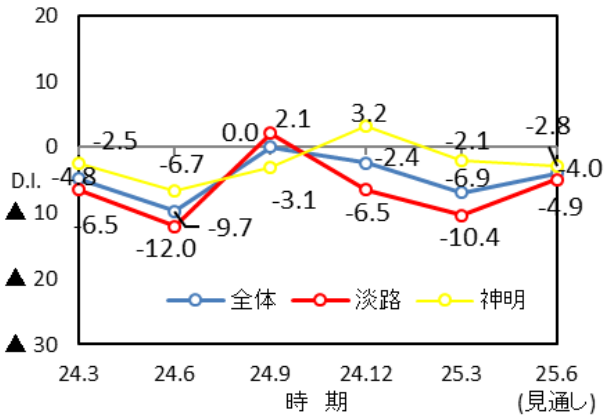
今期（2025年1～3月期）の業況判断D.I.は▲6.9となり、前期（2024年10～12月期）▲2.4に比べ4.5ﾎﾟｲﾝﾄ悪化となり、依然として不安定な状況に変わりない。項目別では、売上額は▲6.9（前期5.2）と12.1ﾎﾟｲﾝﾄ大幅な減少、収益も前期比10.3ﾎﾟｲﾝﾄ減少し▲14.8となった。販売価格では24.4（前期24.5）と前期並み、仕入価格は46.3（前期45.1）と1.2ﾎﾟｲﾝﾄ上昇している。

人手過不足については▲26.5（前期▲26.5）と横ばいで不足状態が続いている。資金繰りについては、▲8.8（前期▲7.8）とやや苦しくなっている。

来期（2025年4～6月期）の業況判断D.I.については▲4.0と2.9ﾎﾟｲﾝﾄの改善を見込んでいる。

業種別では、製造・卸売・小売・サービスの4業種は改善見込みであるが、建設業・不動産業の2業種は悪化する見通しである。

業況判断D.I.の推移（地区別）



(D.I.)

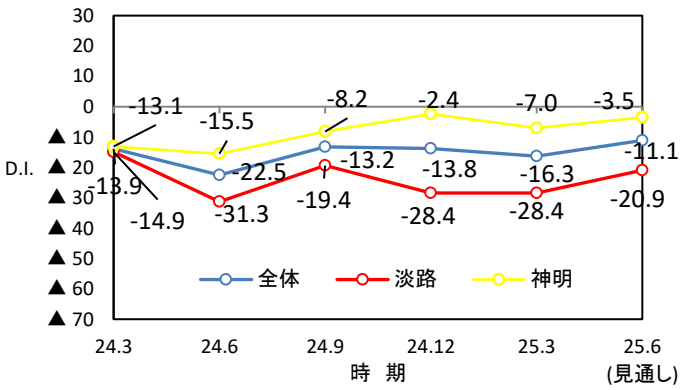
	24年12月（前期）	25年3月（今期）	25年6月（見通し）
業況	-2.4	-6.9	-4.0
売上額（前期比）	5.2	-6.9	4.5
収益（前期比）	-4.5	-14.8	-3.4
販売価格（前期比）	24.5	24.4	19.0
仕入価格（前期比）	45.1	46.3	36.9
人手過不足（過剰－不足）	-26.5	-26.5	-28.0
資金繰り（楽－苦）	-7.8	-8.8	-6.0
設備投資実施企業割合（%）	14.4	13.4	13.2

製造業

前期　今期　来期

今期の業況判断 D. I. は▲16.3（前期▲13.8）と 2.5 ﾎﾟｲﾝﾄの悪化となった。地区別の業況は、淡路地区▲28.4（前期▲28.4）と横ばい、神明地区▲7.0（前期▲2.4）と 4.6 ﾎﾟｲﾝﾄの悪化となった。来期については、業況が 5.2 ﾎﾟｲﾝﾄ改善見込みの▲11.1 で、売上額・収益なども改善見込みとなっている。

業況判断 D. I. の推移（地区別）



（D.I.）

	24年12月（前期）	25年 3月（今期）	25年 6月（見通し）
業況	−13.8	−16.3	−11.1
売上額（前期比）	0.7	−11.8	5.2
収益（前期比）	−13.2	−20.9	−3.3
販売価格（前期比）	30.3	26.8	21.6
仕入価格（前期比）	56.6	49.7	43.1
人手過不足（過剰－不足）	−17.1	−26.1	−26.1
資金繰り（楽－苦）	−17.1	−12.4	−10.5
設備投資実施企業割合（%）	15.1	14.4	16.3

お客様の声

業況は前年並みに推移。「特別設問」については、大手企業等は賃上げ等を実施していると聞くが、中小零細企業においては、賃上げは難しい問題である。（淡路）

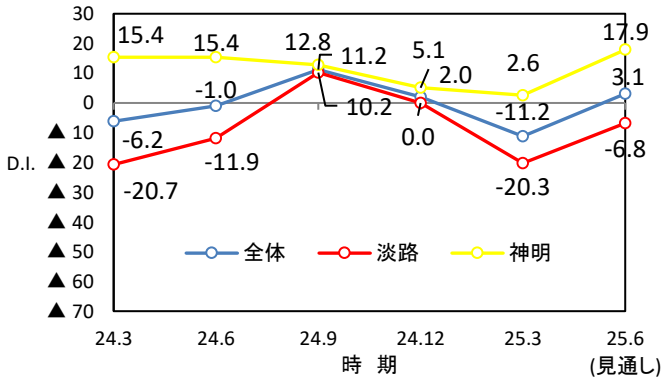
労務費、外注費等の製造コスト上昇分を販売先に対して価格転嫁が十分に行われておらず、赤字基調の営業状況である。人材不足の対応として、外国人エンジニア等を採用しているが多額の採用費用が収益を圧迫している。（神明）

卸売業

前期　今期　来期

今期の業況判断 D. I. は▲11.2（前期 2.0）と 13.2 ﾎﾟｲﾝﾄ悪化となった。地区別の業況は、淡路地区▲20.3（前期 0.0）と 20.3 ﾎﾟｲﾝﾄの悪化、神明地区は 2.6（前期 5.1）と 2.5 ﾎﾟｲﾝﾄの悪化となる。来期については 3.1 と 14.3 ﾎﾟｲﾝﾄ大幅な改善の見込みであり、売上額・収益についても今期より改善する見通しとなっている。

業況判断 D. I. の推移（地区別）



	24年12月（前期）	25年 3月（今期）	25年 6月（見通し）
業況	2.0	−11.2	3.1
売上額（前期比）	2.0	−15.3	13.3
収益（前期比）	−7.1	−21.4	2.0
販売価格（前期比）	28.6	30.6	31.6
仕入価格（前期比）	34.7	44.9	38.8
人手過不足（過剰－不足）	−18.4	−17.3	−20.4
資金繰り（楽－苦）	−4.1	−4.1	−6.1
設備投資実施企業割合（%）	16.3	15.3	11.2

お客様の声

売上高は増加傾向。外国人労働者は既に雇用し生産性の向上に向けた取組みをしている。現在、仕入値や賃上げに見合う価格転嫁を実施し収益確保に取組んでいるところである。（淡路）

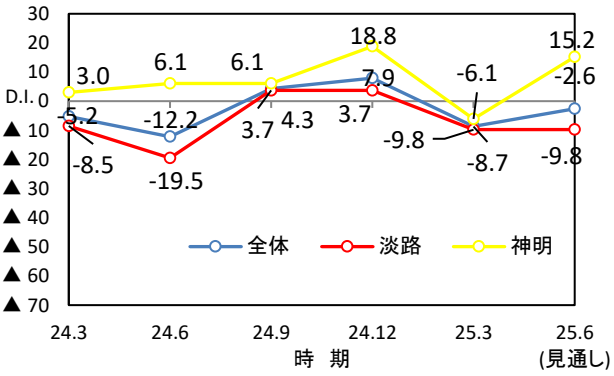
既存先からの安定した受注で増収、増益を見込んでいる。外国人労働者の雇用及び外国への販売は行っていない。理由として、取扱商品が専門的で外国人労働者では対応が難しい。今後も外国人労働者の雇用には消極的。（神明）

小売業

前期　今期　来期

今期の業況判断 D.I.は▲8.7(前期 7.9)で 16.6 ポイントの悪化となった。地区別では、淡路地区は▲9.8(前期 3.7)と悪化、神明地区は▲6.1(前期 18.8)と大幅に悪化している。来期の業況は▲2.6 と 6.1 ポイントの改善見込みであり、売上額・収益についても今期より改善する見通しとなっている。

業況判断 D.I.の推移（地区別）



(D.I.)

	24年12月（前期）	25年 3月（今期）	25年 6月（見通し）
業況	7.9	−8.7	−2.6
売上額(前期比)	15.8	−7.0	5.2
収益(前期比)	3.5	−15.7	−2.6
販売価格(前期比)	28.9	27.8	16.5
仕入価格(前期比)	47.4	43.5	27.8
人手過不足(過剰－不足)	−16.7	−16.5	−18.3
資金繰り(楽－苦)	−7.0	−8.7	−7.8
設備投資実施企業割合(%)	7.0	6.1	6.1

お客様の声

観光客の増加により業況は堅調に推移。外国人客が増加しているが特別な対応はしていない。外国人労働者の雇用は教育やコミュニケーション面が難しいと考えており消極的である。(淡路)

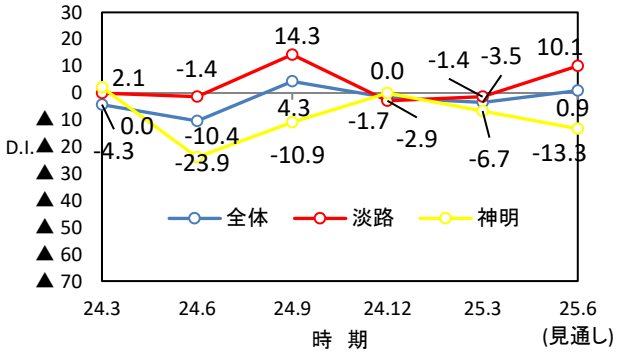
業況は前年同時期比と大きな変動はない。営業としては最新のトレンドを取り入れた商品や外国人観光客をターゲットとした商品などを取り揃え、幅広い層に向けた販売戦略を行っている。(神明)

サービス業

前期　今期　来期

今期の業況判断 D.I.は▲3.5(前期▲1.7)となり 1.8 ポイント悪化となった。地区別の業況は、淡路地区▲1.4(前期▲2.9)と改善、神明地区は▲6.7(前期 0.0)と悪化している。来期の業況は、0.9 と改善、売上額・収益は増加する見込み、人手過不足は▲36.8 ポイントと高い水準で不足が続く見通しとなっている。

業況判断 D.I.の推移（地区別）



(D.I.)

	24年12月（前期）	25年 3月（今期）	25年 6月（見通し）
業況	−1.7	−3.5	0.9
売上額(前期比)	−3.5	−10.5	7.9
収益(前期比)	−8.7	−18.4	0.0
販売価格(前期比)	14.8	18.4	16.7
仕入価格(前期比)	48.7	48.2	39.5
人手過不足(過剰－不足)	−31.3	−36.8	−36.8
資金繰り(楽－苦)	−6.1	−16.7	−12.3
設備投資実施企業割合(%)	17.4	16.7	18.4

お客様の声

今年は花みどりフェアや関西万博等のイベントが予定されており、観光客需要の高まり、利用客の増加が見込まれ売上は増加すると予想している。慢性的な人手不足が課題で、外国人や学生バイトの雇用を継続して行っている。(淡路)

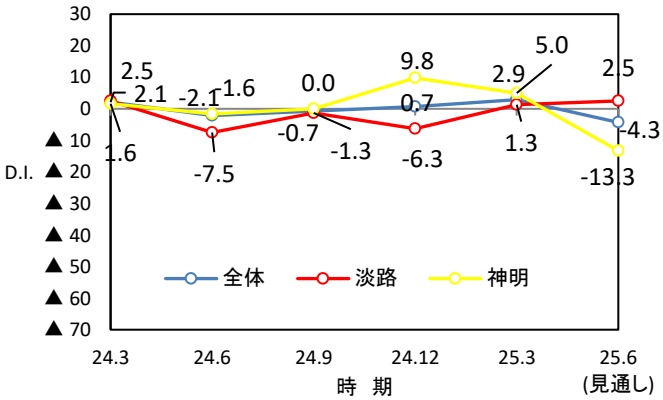
取引先からの受注は安定しており、業況は堅調に推移している。業種的に専門性の高い業種であることから、課題である人材確保と育成に、今後は注力していく方針。(神明)

建設業

前期　今期　来期

今期の業況判断D.I.は2.9(前期0.7)と2.2ﾎﾟｲﾝﾄ上昇となった。地区別の業況は、淡路地区は▲1.3（前期▲6.3）と5.0ﾎﾟｲﾝﾄ改善、神明地区は5.0（前期9.8）と4.8ﾎﾟｲﾝﾄ悪化となった。来期の業況は▲4.3と7.2ﾎﾟｲﾝﾄ悪化する見通しである。人手過不足については、▲42.9の見通しで、慢性的に人手不足の状態が続いている。

業況判断D.I.の推移（地区別）



お客様の声

業況は概ね前年並みに推移。人手に関してはやや不足感があり、外国人労働者の雇用にも取り組んでいる。また、賃上げにも前向きな姿勢をとっており、労働環境の改善や合理化を進めている。

（淡路）

コロナ禍の収束に伴いメイン先からの受注は良好。しかしながら社員の高齢化及び人手不足から、現場で働く社員の労働生産性が上昇しない事が課題であり、積極的な若手採用を行い将来性のある企業を目指している。（神明）

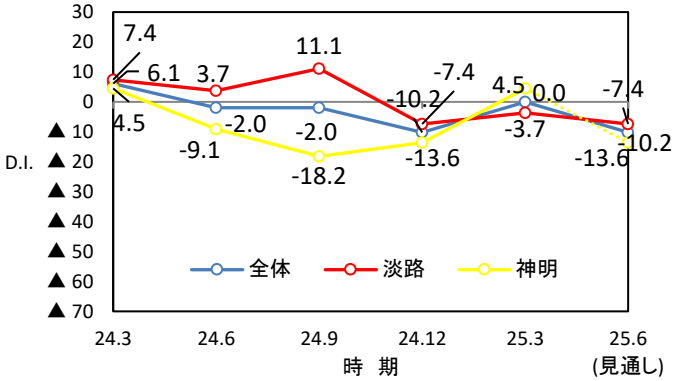
	24年12月（前期）	25年3月（今期）	25年6月（見通し）
業況	0.7	2.9	−4.3
売上額(前期比)	11.3	4.3	−2.1
収益(前期比)	1.4	−5.0	−8.6
販売価格(前期比)	21.3	20.7	12.9
仕入価格(前期比)	43.3	50.7	40.0
人手過不足(過剰ー不足)	−43.3	−39.3	−42.9
資金繰り(楽ー苦)	−4.3	−1.4	0.7
設備投資実施企業割合(%)	15.6	14.3	12.9

不動産業

前期　今期　来期

今期の業況判断D.I.は0.0(前期▲10.2)と10.2ﾎﾟｲﾝﾄ改善となった。地区別の業況は、淡路地区は▲3.7(前期▲7.4)と3.7ﾎﾟｲﾝﾄ改善、神明地区は4.5(前期▲13.6)と18.1ﾎﾟｲﾝﾄ改善となっている。来期の業況予想は、▲10.2ﾎﾟｲﾝﾄと悪化、売上額、収益も減少する見通しとなっている。

業況判断D.I.の推移（地区別）



(D.I.)

お客様の声

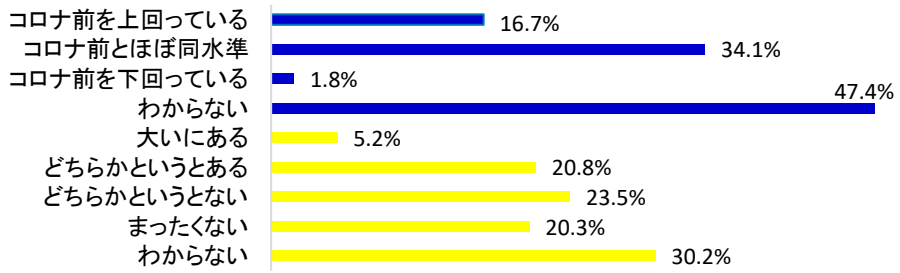
近年の淡路島内の不動産市場は活況であり、引続き一定数の売上は見込める。商品物件の高騰が課題であるものの、次期プロジェクトでは販売価格に転嫁していく方針。（淡路）

商品物件や建築資材の高騰、住宅ローン金利の上昇等、業界における外部環境は厳しいものの、現在大型プロジェクトによる豊富な在庫で一定の売上は確保できている。（神明）

	24年12月（前期）	25年3月（今期）	25年6月（見通し）
業況	−10.2	0.0	−10.2
売上額(前期比)	4.1	2.0	−6.1
収益(前期比)	2.0	0.0	−10.2
販売価格(前期比)	20.4	20.4	14.3
仕入価格(前期比)	22.4	28.6	20.4
人手過不足(過剰ー不足)	−6.1	−8.2	−8.2
資金繰り(楽ー苦)	−2.0	−4.1	−2.0

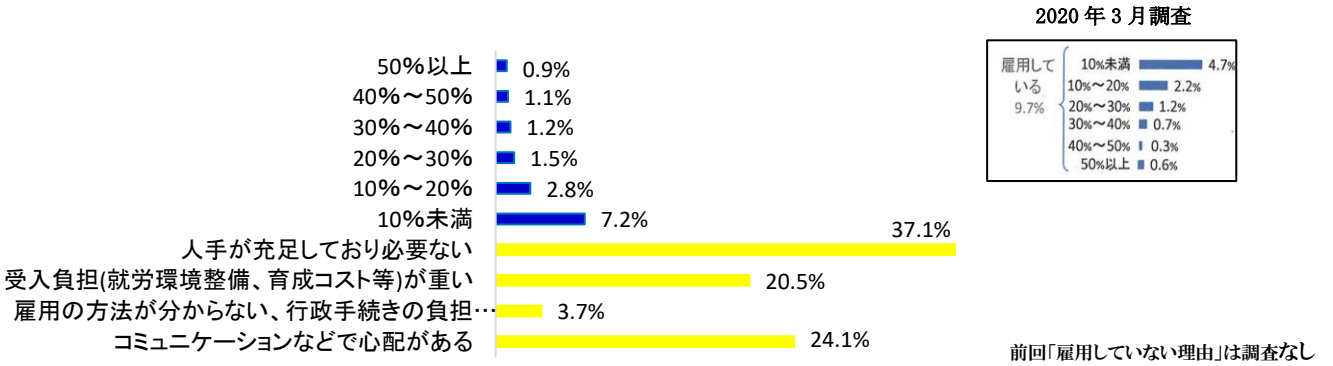
問１.昨今貴社を取り巻く事業環境や地域社会の中で、外国の方と接触する機会がコロナ前の水準に戻っているという実感はありますか。また、外国とのかかわりの中で今後のビジネスチャンスを増やしたいという意向はありますか。

コロナ前と比較した外国人との接触機会については、「上回っている」が 16.7%で「下回っている」が 1.8%となった。外国向けのビジネスチャンスを増やす意向については、「大いにある」が 5.2%と「どちらかというとある」が 20.8%の合計が 26%に対し、「どちらかというとない」が 23.5%と「まったくない」が 20.3%の合計が 43.8%となった。



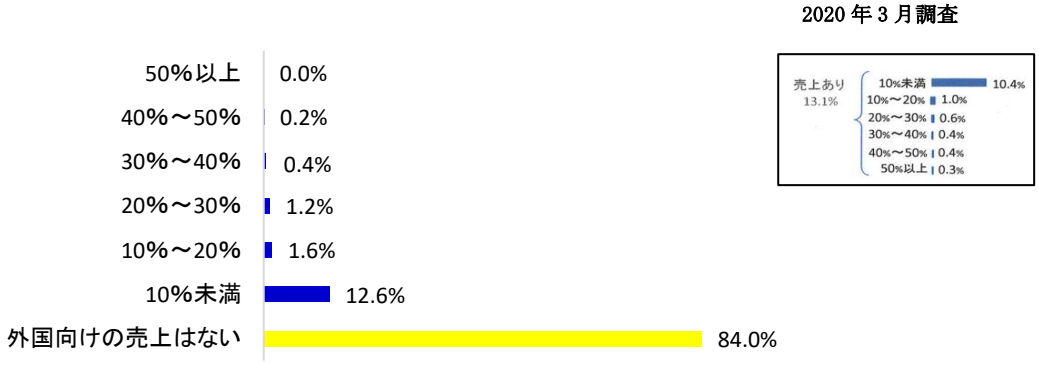
問２.貴社では、外国人労働者を雇用していますか。雇用している場合は、従業員全体に占める外国人労働者の割合と、雇用していない場合は、外国人労働者を雇用していない理由をお答えください。

外国人の雇用の有無については、雇用している企業が 14.7%となり、前回調査(2020 年 3 月調査、9.7%)と比較して 5.0 ポイント上昇した。対して雇用していない企業は 85.4%で、雇用していない理由については、「人手が充足しており必要ない(37.1%)」、「コミュニケーションなどで心配がある(24.1%)」と続いた。



問３.貴社では、売上全体に占める外国人(旅行客を含む)、もしくは外国企業向けの売上げ(輸出を含む)はどれくらいですか。

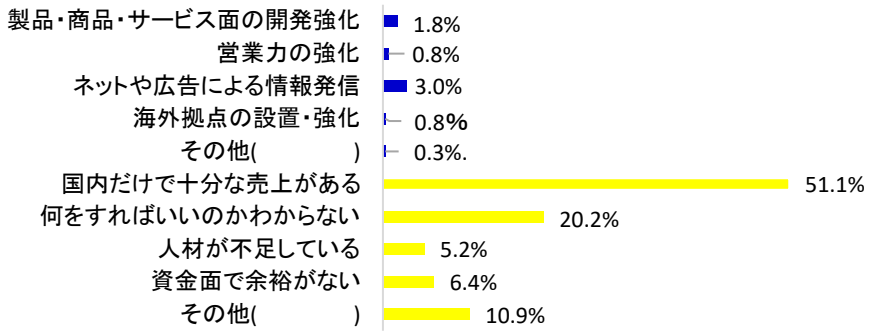
外国人向けの売上の有無については、「売上がある」が 16.0%と前回調査(2020 年 3 月調査、13.1%)を 2.9 ポイント上回った。対して、「外国向けの売上はない」は 84.0%であった。
従業員規模別にみると、規模が大きな企業ほど「外国向けの売上がある」比率が大きかった。



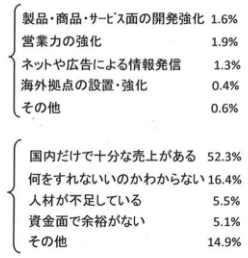
問４.貴社では、外国向けの売上げを増加させるための取組みを行っていますか。行っている企業は、特に行っている取組みについて、行っていない企業は、行っていない理由についてお答えください。

外国向け売上増加の取組みについては、「行っている」が 6.7%(前回 2020 年 3 月調査では 5.8%)に対し、「行っていない」は 93.8%となった。

「行っている」の内訳は「ネットや広告による情報発信(3.0%)」、「製品・商品・サービス面の開発強化(1.8%)」が多く、「行っていない」の内訳は「国内だけで十分な売上がある(51.1%)」が多かった。



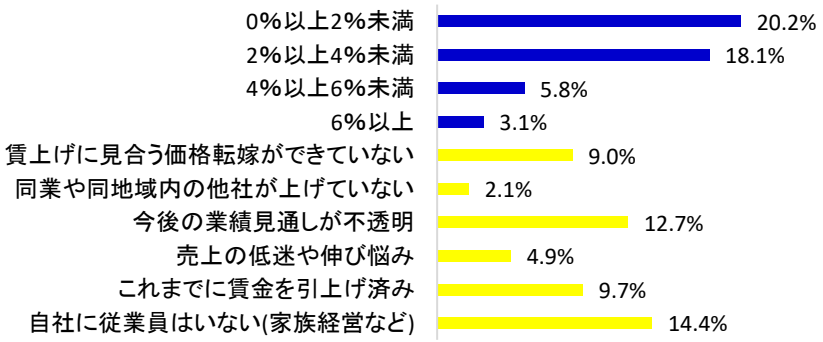
2020 年 3 月調査



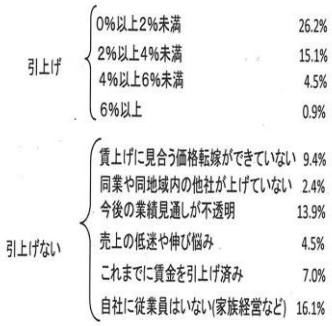
問５.特別設問 貴社では、人材定着などに向けて、２０２５年中に賃金(定期昇給分除く、賞与や一時金除く)の引上げを実施(実施予定を含む)しますか。引上げる場合はその賃金引上げ率について、また、引上げない場合は引上げなかった理由をお答えください。

2025 年中の賃金引上げ(定期昇給分除く、賞与や一時金除く、予定を含む)については、「引き上げた」が 47.2%と、前年調査(2024 年 3 月調査、46.7%)から 0.5 ポイント上昇した。

引上げなかった企業の内訳をみると、「自社に従業員はいない(家族経営など)(14.4%)」、「今後の見通しが不透明(12.7%)」、「これまでに賃金を引上げ済み(9.7%)」と続いた。



2024 年 3 月調査



わたしたちのマチの元気企業 ㊾

淡路島 オニオンクラブ

成井さんちの完熟たまねぎ®

私どもは、1995 年より本格的にたまねぎの栽培、販売を行いはじめました。
設立当初は、自家栽培と洲本市内の農家さんよりたまねぎを買い付け、市場やスーパーに卸す、青果業を営んでいました。品質の安定化を図る為、現在では、100%自家で栽培した『成井さんちの完熟たまねぎ®』を産地直送や淡路島内のお土産店、飲食店チェーン、スーパーなどの全国のお客様に販売を行っております。また、淡路島内で直売店も設けております。

自家栽培の『成井さんちの完熟たまねぎ®』を使用したスープ、ぽん酢、せんべい、カレーなどラインナップも豊富です。加工品の原料は、規格外のたまねぎを使用し、廃棄ロス削減も行っております。

私どもが運営する『成井さんちの完熟たまねぎ®直売所』は、観光や地元のお客様にご利用頂いております。直売所の外には、たまねぎの自動販売機を設置しており、24 時間いつでも購入が可能です。

淡路島オニオンクラブ
成井さんちの完熟たまねぎ®
〒656-0111　兵庫県洲本市鮎屋 594
☎0799-22-7326　FAX0799-22-9254
https://naruisonion.com/

成井さんちの完熟たまねぎ直売所®
〒656-0121　兵庫県南あわじ市山添 165-1
☎050-8884-3386　FAX050-8884-3387
https://naruisonion.stores.jp/

わたしたちのマチの元気企業　㊿

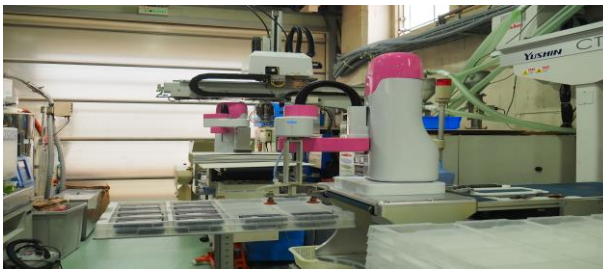
興栄樹脂工業株式会社

弊社、興栄樹脂工業株式会社は 1986 年に株式会社宮本金型製作所の成形トライ事業部から始まりました。それから数多くのお客様に支えられ、今では電子部品、医療機器、自動車用部品などの量産を供給してまいりました。グループ会社の株式会社宮本金型製作所と連携する事で一貫した製造フローにより、金型設計からの成形プロセスも迅速かつ確実に実施できます。成形プロセスにおいても、最新の技術、機械と経験豊富なスタッフが、品質と生産性の向上に注力しています。

製品の品質を最優先に考えており、徹底した品質管理体制を確立しています。製造過程全体での品質管理と検証を通じて、製品が仕様と規制に適合し、高い品質基準を満たしていることを保証しています。品質に関するデータの収集と分析により、持続的な品質向上を図っています。

興栄樹脂工業株式会社は、2019 年に犬のフンを袋でキャッチしゴミ箱に捨てられる「犬の散歩トイレ」を開発。2024 年にはトイレに直接流せるバージョンアップ版をリリースし、衛生面や臭い対策が向上。楽天市場「マック＆ロビン」で販売中。
手軽で清潔なフン処理を求める飼い主におすすめ！
詳細は楽天市場でチェック！

阪神大震災を乗り越え、興栄樹脂工業株式会社と株式会社宮本金型製作所は、神戸市長田区から兵庫区へ移転し、事業を統合。
これにより、金型設計から樹脂成形までの一貫生産体制を確立し、品質と生産効率を向上させました。震災の経験を活かし、管理を強化しながら、新たな技術開発にも挑戦。
今後も成長と社会貢献を目指します。



興栄樹脂工業は、さまざまな製品タイプに対して柔軟に対応できる能力を持っています。小規模から大規模のプロジェクトまで幅広いスケールで製品を製造し、業界や用途に応じた多様なプラスチック製品を提供します。これにより、異なる産業や市場向けに最適なソリューションを提供できます。

興栄樹脂工業株式会社
KOUEI PLASTICS INC.
〒652-0847
兵庫県神戸市兵庫区切戸町 5-29
TEL:078-651-7425
FAX:078-652-1881
http://www.koueipla.com

（グループ会社）
株式会社宮本金型製作所
MIYAMOTO MOLD FACTORY INC.
TEL:078-652-1686
FAX:078-652-1881
http://www.miyamoto.mold.com